ニカラグアの内政・外交・経済（２０１４年６月分）

【概要】

<内政・外交>

内政では、１ヶ月を通して新国家警察法に対する批判が続いた他、第３５回革命記念日（７月１９日）に向けた与党ＦＳＬＮの政党活動が目立ち始めた。また、保健省ではチクングニア熱対策委員会が設けられ、徐々に中米各地に広がる同感染症に対し、政府は保健衛生警報（Alerta sanitaria）を発令した。

外交面では、ラ米各地で大統領就任式やＳＩＣＡ等国際機関の会合が行われたものの、オルテガ大統領が外遊することはなく、ＯＡＳ総会では、ニカラグア代表部大使が、当国の貧困削減の成果を主張するとともに、米国のキューバに対する経済封鎖措置等につき批判した。また、１５日にコロンビア大統領選が行われたことから、海洋領域問題における今後の対コロンビア関係の改善に期待が持たれたが、サントス現大統領の再選により、短期的な改善は難しいと予想されている。

<経済>

　５月に引き続き旱魃の影響が窺えた。牧畜業者は、１ヶ月で国内の家畜が１０００頭以上死亡したことを受け、ニカラグア中銀に対し、財政支援を要請した。一方、Ｆ／Ｓの結果が待たれる両大洋間運河建設計画については、ＨＫＮＤ社が、自社ホームページ上で、ニカラグア両大洋間運河計画関連法（法律８４０号）に記載されたサブプロジェクト項目の変更を公表して話題となった。また、基礎食料品の一つである赤フリホール豆の供給不足とそれに伴う価格高騰から、政府は同フリホール豆を２万トン輸入することを決定した。

１　主要な動き

（１）政治

ア　警察組織・機能・キャリア・社会保障特別枠組法（新国家警察法）

　１１日、本会議において、賛成６３票、反対２６票で、①国家警察が大統領直轄機関となること、②大統領が警察高官の任期の延長を自由に決めることができること、③警察高官の退役年齢の６５歳までの延長、④民間人・法人による調査の禁止規定等を含む新国家警察法が可決された。野党は、警察のオルテガ大統領への服従関係や表現が曖昧で、報道機関による調査も含まれかねない民間人・組織による調査の禁止規定等が含まれている点を指摘し、同法案に強く反対した。しかしながら、２６日には、同法の各条項は目立った変更なく承認され、今後、警察組織が与党色の強いものとなること等が懸念されている。

（２）経済

ア　官民の対話関係の成果

　政府、民間企業、労働者の三者間対話モデルの代表的な成果として、約１１．２万人に上る労働者を雇用するフリーゾーンでの労働の安定性が挙げられる。２０１３年には、フリーゾーンの経済活動は、２５．３５億ドルの輸出をもたらし、総輸出額の５２％を占めた。アゲリ民間企業最高審議会会長は、「三者間対話の成果は互いの信頼関係といえ、かかる信頼関係が責任ある決断に繋がってきた。」旨述べている。この１０年間でフリーゾーンからの輸出は、約６億ドルから２５億以上にまで伸び、フリーゾーンの進出企業は、２００７年から７１％増え、現在、１７４社に上る。

イ　スキャナー法の改正

　１６日から国会生産・経済・予算委員会において、国家安全保障のための税関における検査サービスに関する権利法（スキャナー法）改正の審議が開始された。同法は、税関の新Ｘ線システム導入に伴う手数料や同システムの導入を行うＡｌｖｉｍｅｒ社へのコンセッションの内容等を定めたものであるが、手数料が輸出入品総額の０．２６％と、定額の隣国と異なり、支払いが高額となること等への批判・抗議が高まったことから、改正が検討された。今次改正では、手数料を固定額に変更し、コンセッション期間を２０年間に延長、税関（ＤＧＡ）の収益を現行の１０％から５％に減少すること等が検討されており、７月中に改正される見込みである。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2014年** | | | **2013年** | **2012年** |
| **6月** | **5月** | **4月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 6.1% | 4.8% | 4.9% | 8.3% | 6.5% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | △197.9 | △2,817.7 | △2,740.7 |
| **輸出FOB（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 215.2 | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入CIF（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 445.2 | 5,649.5 | 5,851.3 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 98.5 | 91.1 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2,086.8 | 2,005.2 | 2,060.8 | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

（３）その他

交通事故および致死率

国家運輸局によると、本年６月初旬までの交通事故は１１８４０件に上り、平均、２０分ごとに交通事故が発生している。死亡事故は、一日あたり平均２名となり、この１０年間、交通事故は死因のトップとなっている。公共政策研究所の調査では、１９９８年以来、交通事故はコンスタントに増えており、その要因として、本年２月に改正された道路交通法が周知されていないことや歩行者の不注意等を挙げている。

２　クロノロジー

（１）内政

　７日　与党ＦＳＬＮは、第３５回革命記念日に向けた集会等の政党活動を開始。

　９日　オルテガ大統領は、韓国及び米州開発銀行の援助によって設立されたブロードバンド開発高等研究センターの開所式に出席。

１１日　国会は、警察組織・機能・キャリア・社会保障特別枠組法を可決。

　　　　国会は、１５の警察署開設のため、中米経済統合銀行から１８００万ドルの援助を承認。

（２）外交

　１日　ハレスレーベン副大統領は、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領就任式に出席（於：エルサルバドル）。

　３日　モンカダ・ニカラグアＯＡＳ代表部大使は、第４４回米州機構総会に出席（５日まで　於：パラグアイ）。

１０日　ジェンスケ外務次官は、ＡＬＢＡ政治評議会に出席し、ベネズエラに対し連帯の意を表明（於：ベネズエラ）。

１４日　ミゲル・デスコト大統領府顧問は、Ｇ７７＋中国臨時首脳会合において演説（１５日まで 於：ボリビア）。

１８日　モハメド・ラスター大統領顧問等は、ファハミー・エジプト外相と会談し、オルテガ大統領からエルシーシ新大統領就任への祝辞を伝達（於：エジプト）。

　　　　政府は、レオン・デ・ラ・トーレ・スペイン大使に対し、ホセ・デ・マルコレッタ大十字章を叙勲。

１９日　オルテガ大統領は、マケイ・ベラルーシ外相と会談（於：マナグア）。

２７日　ジェンスケ外務次官は、第４３回ＳＩＣＡ首脳会合に参加（於：ドミニカ共和国）。

（３）経済

１０日　国会は、農業セクター支援のための米州開発銀行による援助２０００万ドルを承認。

　　　　国会は、農村部の水と衛生プロジェクトのため、３０００万ドルの世銀による援助を承認。

１２日　コーヒー輸出協同組合は、政府の支援によりワールド・オブ・コーヒー展示会に参加（於：イタリア）。

１８日　オルテガ大統領は、ニカラグア米国商業会議所（ＡＭＣＨＡＭ）と会談。

２５日　ニカラグア企業団は、フード台北２０１４に参加（２８日まで 於：台湾）。

２６日　世銀は、農村部道路インフラ改善プロジェクトに対し５７００万ドルの追加融資を決定。